

防災福祉 **みんなのやる気**を応援するアプリです。



防災福祉 カンタン マップ

Leave
no one
behind

4つの思いを**アプリ**でつなげる

民生児童委員

地区役員

市町村・社協職員

福祉専門職



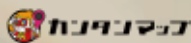
クラウドで共有

国の認証を受けたクラウドサービス「キントーン（サイボウズ株）」を利用、情報セキュリティと個人情報保護を徹底しながら共同活用します。



デジタルマップ

カンタンマップ（あっとクリエーション株）で災害時要援護者のリスクを「見える化」。個別帳票の作成や大版印刷機能も備え、防災福祉の現場を支えます。



スマホと連携

自治会役員や福祉職員は、担当する要援護者の安否確認を行い、スマホから本部のデジタルマップに送信します。避難訓練や水害の事前避難での活用が期待されます。



広がる可能性

今後、災害時に活動するボランティアセンターや災害派遣福祉チーム用のアプリの開発を予定。包括的な情報把握により、支援の質の向上を目指します。

防災福祉アプリ共同活用ネットのご提案

～みんなで創り、みんなで学び、みんなで活用していきましょう！～

私たちの思い

地域防災の主役である住民や福祉専門職が要援護者情報を共有し、避難支援の仕組みを作るため、今「防災福祉の現場で使えるデジタルマップ」が求められています。




私たちは、個人情報保護に配慮しつつ必要な情報を共有するため、キントーン（サイボウズ㈱）とカンタンマップ（あっとくりエーション㈱）の組み合わせに惚れ込み、実証実験によりその有効性を確認してきました。

このツールを、自治会や福祉事業所など、みんなで活用していけるよう「共同活用ネット」の仕組みを提案します。

共同活用ネットとは

大きな社会福祉法人や都道府県社協、指定都市社協などが、「共同活用ネット」本部を設置、地域の防災福祉関係団体の参加を募り、会費により防災福祉アプリを共同で活用する仕組みです。

「共同活用ネット」本部が提供する機能

共同活用ネット 加入メリット①	加入団体に、防災福祉アプリを「みんなで活用」できる環境を提供します。				
	<table><tbody><tr><td>キントーン 1アカウント</td><td>カンタンマップ 防災福祉版 〔プラグイン〕</td><td> 防災福祉 カンタン マップ</td><td>スマホと連携 ※一部の情報のみ共有 ※100台まで</td></tr></tbody></table>	キントーン 1アカウント	カンタンマップ 防災福祉版 〔プラグイン〕	 防災福祉 カンタン マップ	スマホと連携 ※一部の情報のみ共有 ※100台まで
キントーン 1アカウント	カンタンマップ 防災福祉版 〔プラグイン〕	 防災福祉 カンタン マップ	スマホと連携 ※一部の情報のみ共有 ※100台まで		
共同活用ネット 加入メリット②	みんなで学ぶ機会を提供します。				
	<table><tbody><tr><td>月例ZOOM ミーティング</td><td>セキュリティ 研修</td><td>サポート業者の 紹介、発掘</td></tr></tbody></table>	月例ZOOM ミーティング	セキュリティ 研修	サポート業者の 紹介、発掘	
月例ZOOM ミーティング	セキュリティ 研修	サポート業者の 紹介、発掘			
共同活用ネット 加入メリット③	現場で使えるアプリをみんなで創り、交換しあいましょう。				
	<table><tbody><tr><td>地域支え合い センター用 アプリ</td><td>災害VC用 アプリ 〔他県から提供〕</td><td>在宅医療機器 利用者支援アプリ 〔今後検討〕</td><td>災害派遣福祉 チーム用アプリ 〔今後検討〕</td></tr></tbody></table>	地域支え合い センター用 アプリ	災害VC用 アプリ 〔他県から提供〕	在宅医療機器 利用者支援アプリ 〔今後検討〕	災害派遣福祉 チーム用アプリ 〔今後検討〕
地域支え合い センター用 アプリ	災害VC用 アプリ 〔他県から提供〕	在宅医療機器 利用者支援アプリ 〔今後検討〕	災害派遣福祉 チーム用アプリ 〔今後検討〕		

長野県内の団体、法人、自治体の場合

防災福祉アプリ共同活用ネット長野

【加入案内】

○会費（1アカウントごと） 月額 2,980円

○新規申込開始 令和4年5月から

○初期導入経費 5万円〔作業内容により割引があります〕

設定、現地指導1回を含みます。※実証実験参加団体は不要

※初期設定作業のため、申込から利用開始までお時間を頂く場合があります。

※原則として、1アカウントでユーザーが、事務所内のパソコンで使用できます。
〔キントーン使用ルール等による〕ただし、バックアップのためにパソコン、タブレット等で使用することは可能です。

※スマホ連携機能は、一部の情報のみを共有しアカウントで100台まで連携可能です。

長野県外の団体、法人、自治体の場合

あなたの地域でも「共同活用ネット」を立上げましょう！

立上げを検討頂ける場合、「お試しアカウント」（2か月無料）を提供できる場合がありますので、お気軽にお問合せください。

防災福祉アプリ共同活用ネット長野

広がれ「共同活用ネット」事務局

【お問い合わせ】

長野県社協・まちづくりボランティアセンター

〒380-0936 長野県長野市中御所岡田98-1
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137

特定非営利活動法人 さくらネット

〒662-0041 兵庫県西宮市末広町4-7
夙川レッチオレジデンツア402 TEL:0798-23-3215

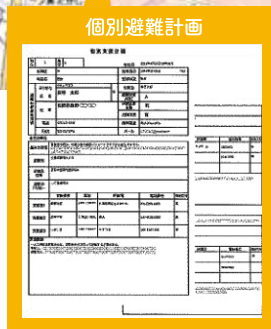
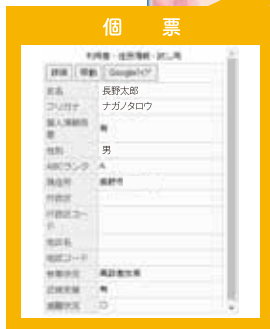
point
01

リスクを「見える化」する基本機能

自治会や福祉・介護事業所の持つ災害時要援護者情報を災福マップで「見える化」し、支え合いマップづくりや個別避難計画策定に活用します。



※名前はサンプルです。



《共通レイヤー》

住宅地図

※国土地理院地図

重ねるハザード

避難所等の資源マップ

《自治会等》

地域の支援者マップ

《施設・事業所》

職員の住所マップ

point
02

「ABCアセスメント」から始めましょう。

災害時要援護者の避難時のリスクをABCランク分けして災福マップにインポート。マップで地域全体を見渡して、支援の優先度を確認することから取り組みがスタートします。

ワークフロー



災害時要援護者の
名簿等



避難支援の優先度
A～Cランク分け

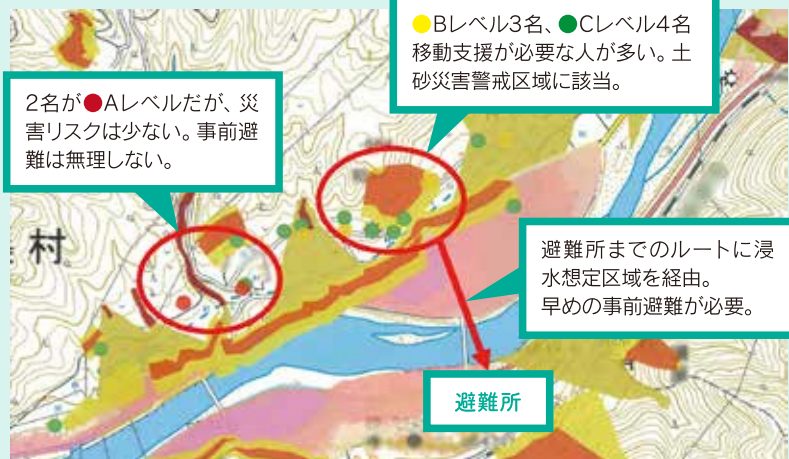
● Aランク

● Bランク

● Cランク

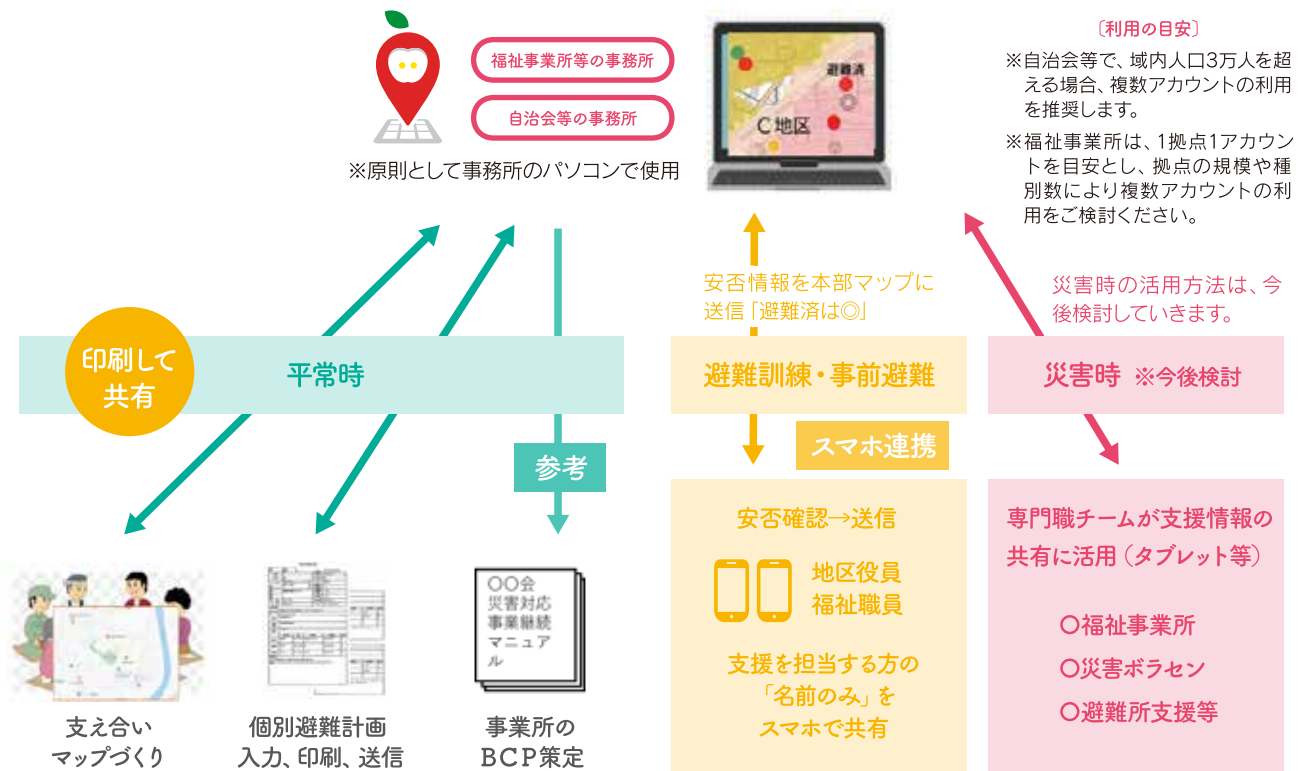
名簿をもとに避難支援の優先度をA～Cにランク付けします。

ランク分けの基準は、民生委員や福祉専門職の経験をふまえて、地域ごとに決めましょう。



※大桑村社会福祉協議会作成

「災福マップ」でつなげよう、広げよう！



「現場」で使えることを「実証」済！

令和3年1月～12月の間、長野県内26法人が参加して「防災福祉カンタンマップ実証実験」を実施。各法人の在宅福祉サービス利用者から希望者を募って、災福マップを活用し、その有効性、可能性を確認済です。



実証実験

実施主体

長野県
社協福祉
協議会

協力団体

サイボウズ(株) 《キントーン、東京都》
あっとクリエーション(株) 《プラグイン、大阪市》
(特活)さくらネット 《企画指導、西宮市》

(1) ABCアセスメント ●入力済団体…22団体 ●入力済数…(要援護者) 5,931名

(2) 実績

平常時	避難訓練・事前避難	発災時、復旧期	復興期
<ul style="list-style-type: none"> 「住民支え合いマップ」の作成、更新支援 8団体、76地区 「個別避難計画」のモデル策定 7団体、46件 BCP策定に活用してみた 4団体 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練での活用 3団体 	<p>※未実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後検討予定 ・他県の取り組みとの連携も想定 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本台風災害被災者支援「地域ささえあいセンター」〔長野市在勤〕